

市民ネットワーク所沢からのお知らせ

わか祭

3月1日(日) 11時～14時半

生活クラブ所沢生活館にて 右の地図を参照
(新所沢駅からバス、美原町三丁目下車)

主催：所沢地域協議会

ネットは『行政相談』で参加します！

市民活動紹介コーナー

「所沢の財政学習会」 主催：所沢の財政を学ぶ会

『市民から見た所沢の財政』をテキストに、楽しくわかりやすくお話しします。

2月22日(日) 14時～16時 新所沢公民館にて

問い合わせ：大輪 2942-3783

市民ネット 事務所での催し物

2月25日(水) 13時～15時
事務所開放日 (行政相談、お茶飲み話)

3月25日(水) 13時～15時
認知症サポーター養成講座
(終了後にオレンジリングを
差し上げます)



市民ネットワーク <http://tokorozawa-net.cool.ne.jp/>

NO.72 (2015.2)



発行：市民ネットワーク所沢

〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル 1F-B

TEL/FAX 04-2947-6370 メール：cnet-toko@net.email.ne.jp

市議会議員選挙の候補者

「末吉美帆子」に決定！



2015年、所沢市では2月の防音校舎住民投票に始まり、4月の県議・市議、8月の県知事、10月の市長選挙と合計5回の選挙が行われます。

市民ネットワークは1/25に定期総会を開催し方針を決定しました。これまで市政に新しい風を吹き込み続け、市民自治を広げる活動を全力で続けてきましたが、この光を消さず、未来へつなげるために4月26日市議選の候補者に『末吉美帆子』を決定しました。議員定数が3減の33に削減され大変厳しい選挙となりますが『市民の代理人』として、改革をさらに進めていけるよう頑張っていきたいと願っております。

埼玉県は高齢化のスピードが日本一早いと言われます。自治体財政が厳しいのは厳然たる事実ですが「使い道の優先順位」を決めるのが政治です。自助・共助・公助をゆた

かに広げ、市民の皆さんが心穏やかな生涯を過ごすために、何をすればよいのか考え動いていきたいと思ひます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

市民ネットワーク代表 大輪絹子

市民ネットワークとは？

自治する市民を目指し、私たちの暮らしの中から見えてきた課題を声に出し提案していこうと、生活クラブ生協の仲間を中心に「市民ネットワーク所沢」を立ち上げました。

1999年に「君田典子」を、2007年からは「末吉美帆子」を市議会に送り出しています。地域の利益代表ではない、しがらみや見返りのない、公正で『あたりまえの市民の常識』が生きる市役所改革、議会改革を目指します。



【お問い合わせ・連絡先】

常駐していません。留守電・FAX をお願いします。

住所 〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル 1F-B

電話・FAX 04-2947-6370

メール prinmint@shore.ocn.ne.jp (末吉)

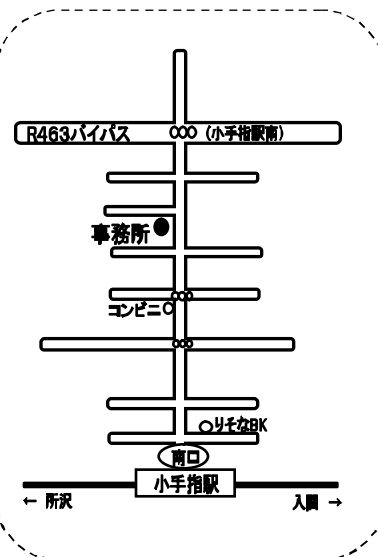
cnet-toko@net.email.ne.jp (事務所)

ネットの仲間になって一緒に活動しませんか。

年会費 1,500円 郵便振替口座 00160-6-179015

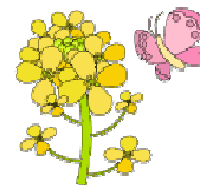
この「つうしん」はボランティアの方が配布しています。

購読ご希望の方は定期的に郵送します。どうぞご連絡下さい。



検証!

2011 市民ネットワークと末吉美帆子の 5つの約束



3. 待機児童ゼロ、 学童保育料の値下げ 実現！！

放課後学童事業の保育料が統一化されておらず、年間最大 12 万円以上の格差が生じていました。粘り強い要望に答え、ついに平成 27 年 4 月から保育料が月額 1 万円に統一され、預かり時間や面積基準も統一化、整備されます！！児童館の夏期受入れ拡大などさまざまな方策で入所希望者を断らない、必要に応じ増改築や移転など施設拡大も引き続き要望しています。

4. 食の安全と地域経済活性化

給食の遺伝子組み換え作物不使用、放射性物質検査、化学物質過敏症対策など食の安全・環境問題にこだわって活動してきました。また「菜の花プロジェクト」に協力し、市内で栽培した無農薬菜種油の取組みも広がりました。

5. 犬猫殺処分ゼロ

所沢市は平成 26 年度から埼玉県「地域猫モデル事業」を受託しています。原資はイオン(株)の「彩の国ワオンカード」からの県への寄付金で税金を遣っていません。

猫トラブルを解消し、地域の人間関係が紡ぎ直されています。この取組みが所沢から埼玉県、全国へ広がるよう願っています。

リレーエッセイ

若年層の政治参加のありかたは？

先日用事のため駅に向かうと、市議選挙に向けての活動を行う議員を拝見した。早朝からエスカレーター利用者に笑顔で挨拶をしながら活動報告書を手渡ししていた。どのような活動を行っているのに関心を抱いたため、活動報告書をぜひ頂こうと手を伸ばしたところ、私が学生服を着ていたからか、渡す手を引っ込められ、結局得ることはできなかった。

日本で選挙権を得るのは満 20 才以上の男女と決められている。私とその議員の活動報告を見たところで選挙になれば投票することはできない。もしかしたら予算も限られている中での選挙活動では選挙権のない学生にまで配る余裕がないのかもしれない。それでも、市民、特に若年層政治離れが懸念される中での対応としては相応しくなかったのではないかと考える。

刻々と進行していく少子高齢化や地域の荒廃、学校教育水準の向上など解決策をすぐにでも見つけなければならぬ問題は溢れかえっているのだから、大勢で意見交換を行うべきではないのか。そして若年層も意見交換が行えるだけの情報提供が可能な環境作りをすることが今最も優先すべきことではないのだろうか。

今回の出来事で今後の政治参加についての態度を改めて深く考えさせられた。

(オヤジ JK)

